

HAWORTH

# ワークプレイスを 「未来のワーク プレイス」へと導く

2024

資料

SAP Experience Center

場所

オランダ - スヘルト  
ヘンボス


デザイン会社

Colliers

Second Life パートナー

Opnieuw



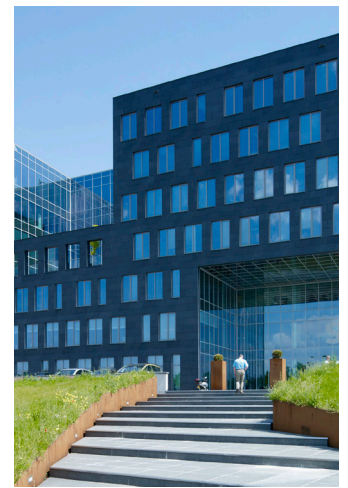


「世界中で10万人以上の  
従業員が活躍している当社  
には、ひとつで対応可能な  
万能モデルは存在しません。  
だからこそ私たちは、ビジネス  
ニーズとお客様ニーズに  
応えながら、すべての役職、  
働き方、ロケーションに適した  
アプローチを提供することを  
約束しています。」

ドイツに本社を構えるSAPは、ビジネスプロセス管理ソフトウェア開発において、業界を世界的に率いる存在です。2021年、SAPはオランダのスヘルトーヘンボスに位置する自社のExperience Centerを拠点に、野心的な試みに乗り出しました。この試み内でSAPは、Amerikastraat 10に位置する既存のオフィス空間に新しい風を吹き込み、従来の概念の枠を超えた革新的なワークプレイスを生み出すことを目指しました。

この斬新な取り組みは、SAPのワークプレイスに新しい活力をもたらすだけでなく、革新性と適応性にフォーカスした企業の確固たる姿勢を強調するものとなりました。Colliersのエキスパートデザインガイドラインに沿い、地上階から4階に至るまで、ワークプレイスのすべての側面を精査することで、生産性とコラボレーション文化を促進する環境づくりを目指しました。

こうした先見性のある試みの中で、SAPはハイワースとコラボレーションし、「未来のワークプレイス」を切り開き、牽引していくような、世界中のビジネスにインスピレーションをもたらすデザインを完成させました。



- デザイン会社: Colliers
- パートナー: Opnieuw

目的

Amerikastraat 10に位置する既存のオフィス空間を、革新的な「未来のワークプレイス」へと作り変える。

ソリューション

各フロアで、生産性とコラボレーションを促進するデザイン。

結果

世界中のビジネスにインスピレーションをもたらすような、最先端の「未来のワークプレイス」。

## Pledge to Flex

SAPが掲げるワークプレイス戦略は、「Pledge to Flex (柔軟性の約束)」と名付けられ、この革新的な移行を裏で支えながら導く、基盤的な指針として用いられました。世界各地で10万人を超える従業員が活躍するSAPは、その広大なネットワーク内で展開されるすべての役職、働き方、地理的ロケーション特有のニーズに応えることができるような、柔軟なアプローチを取り入れることの重要性を強く認識していました。

そこで目指したデザイン哲学とは、企業全体のあらゆるレベルにおいて生産性とコラボレーションの源となるようなものです。センター内のすべてのフロアは、柔軟性や適応性というSAPの精神を体現するために慎重に吟味され、従業員が役職や好みを問わずシームレスに作業できるようにするだけでなく、地理的な隔たりを超えてコラボレーション文化を育めるようにしました。企業全体にわたる柔軟性とコラボレーションへのこうしたコミットメントは、従業員の生産性の最適化と、急速に発展し続けるビジネス現状に対する従業員の適応性の確立を促進する、SAPの徹底した姿勢を強調するものとなりました。

実現された空間は、多様なアクティビティに適した幅広い環境を従業員に提供しています。デスク、ミーティングルーム、ブース、コラボレーションゾーンなど、それぞれが業務に合わせて好きな場所を選ぶことができます。





各従業員は日々の作業をこなすのに最適な場所を選ぶことができるよう、しっかりとサポートされています。



## 自宅以外の アットホーム空間

空間を一新する当プロジェクトの根底には、まるで第2の自宅のように居心地が良く、快適なインテリアをデザインするという基盤的なコンセプトがあります。この指針は、リモートワークの統合が飛躍的に進んだ時代において、さらにはSAPの従業員がワークプレイス内で単なる空間を超えたしっかりとしたサポートを感じられるように徹底することが切実に求められる中で、すべてのデザイン選択において重要な役割を担う存在となりました。

作業エリアにつながるフロアでは、プライバシー・コンヴィヴィアリティ(自立共生)エリアが、静けさ、居心地の良さ、高品質の環境を実現しています。





静かな環境が整った空間は、ホスピタリティ部門からインスピレーションを得ています。



## あらゆるアクティビティに適した家具

SAPのExperience Centerでは、「未来のワークプレイス」が現実のものとなっています。個々に多様で特徴的なアクティビティに合わせて熟考を重ね、家具ソリューションを採用しました。また、フロアプランを慎重に考慮することで、家具はそれぞれの空間で行われる特定の作業にシームレスにマッチしています。







人間工学や快適な座り心地などへの考慮も、作業、学習、休憩エリア全体に反映されています。



## サステナブルなプロジェクト

持続可能性と循環性を目指す取り組みの一部として、SAPは可能な限り既存の家具を再利用したいと考えており、ヘイワースはパートナー会社であるOpnieuwとコラボレーションすることでこのニーズに応えました。使われなくなっていたテーブルベースは、改装して新しいテーブルトップを備え付けることで、新たな家具として生まれ変わりました。



多様な活用用途に合わせて、豊富なミーティングルームオプションを展開しています。再デザインされたテーブルは、SAP Experience Centerのニーズに合わせてカスタマイズされています。





## カスタマープロフィール

SAPはビジネスプロセス管理ソフトウェア市場において世界をリードするメーカーであり、効率的なデータ処理と企業間の情報フローを実現するソリューションを開発しています。SAP Experience Centresでは、顧客は革新的なソリューションやテクノロジーを実際のデモ体験やショーケース、SAPソリューションポートフォリオで展開されるプレゼンテーションを通して検討することができます。SAPは、新たなプロジェクトとして実践的なワークショップとデザイン思考セッションを展開しており、自社のデジタル・トランスフォーメーションの道のりにおける成果を特定する空間となっています。

## 使用されているハイワース製品

- ラウンジ：Cabana Lounge - Adelaide - Modena
- シーティング：Nia - Maari - Poppy - Zody
- デスクとテーブル：改装されたミーティングテーブル  
- A\_wood - Meeting Point - Epure - Lyft - PopUp  
- Intuity Park Bench
- アコースティック：Mango (Boss Design)